



一つは、話し合い活動に直接かかわる場面でのアイデアで、もう一つは、話し合い活動を間接的に支える場面でのアイデアです。

## 1 話し合い活動に直接かかわる場面での3つのアイデア

### (1) 議題提示のアイデア

話し合いを活性化させるためには、まずもって何を話し合えばいいのかがよく分かっていなければいけません。そのための手立てが必要です。

### (2) 話し合いをスムーズに進行するアイデア

話し合いが滞ることなく、スムーズに進んでいくことが必要だと考えます。そこで、話し合いを予定の時間内に終わらせることが必要です。

そうは言っても、話し合いが停滞することも当然考えられます。そういう場面を乗り越えさせる力を付けておかなければいけません。

また、話し合いをスムーズに進めるには、話し合いの仕方が身に付いておかないといけません。

### (3) 話し合いの雰囲気づくりのアイデア

話し合い活動が活性化するには、話し合いの雰囲気がよくないといけません。雰囲気を盛り上げるために何をしたらいいのでしょうか。

## 2 話し合い活動を間接的に支える場面での6つのアイデア

話し合いの時間が活性化するためには、話し合いの時間だけを工夫してもダメです。それに至るまでにも、様々な手立てを打つ必要があります。

### (1) 議題を集めるアイデア

子どもたちが「話し合いたい」と思う議題を集める必要があります。そこで、ア) ポストに関するアイデア イ) 学級会コーナーのアイデア ウ) 議題を出すきっかけをつくるためのアイデアという3つを紹介しました。

### (2) 計画委員会でのアイデア

話し合い活動の計画を立てるのが計画委員会の仕事です。話し合いを活性化させるためのポイントがここにあると考えます。そこで、ア) 今必要な議題を選定するアイデア イ) 話し合いの柱をつくるアイデア ウ) 意見(情報)を集めるアイデアの3つを紹介しました。

### (3) 学級内に好ましい人間関係をつくるアイデア

いがみ合った人間関係の中では話し合いは活性化していきません。学級内に好ましい人間関係をつくる必要があります。そこで、ア) お互いのよさを認め合わせる場面をつくるアイデア イ) 協力し合って何かを解決させるアイデア

の2つを紹介しました。

(4) 話し合いを好きにするアイデア

「話し合うって楽しいな」そう思う子どもたちであれば、まちがいなく話し合い活動を活性化させることができるでしょう。そこで、ア) 話し合いで解決するよさを味わわせるアイデア イ) 学級の自慢を共有化させるアイデアを紹介しました。

(5) 世論を高めるアイデア

話し合いに向けて子どもたちの気持ちを高めておくことも大切です。そこで、ア) オリジナル議題をつくるアイデア イ) 計画書を活用するアイデアを紹介しました。

(6) 学級目標を意識させるアイデア

話し合い活動は、学級目標達成のために行われるものです。そこで、ア) 学級目標をみんなで作るアイデア イ) 学級目標を動かすアイデアを紹介しました。

アイデアの具体については、次号より紹介していきます。

2 学習指導要領解説～特別活動編～を読む その4

山口市立平川小学校 梶田崇晴

今回も引き続き特別活動の目標をみてみます。

◆特別活動の目標◆◇◆

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

今回は「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」という部分に着目してみました。これは、道徳教育のとの関連で新しく付け加わった文言だということです。

今回の学習指導要領改訂の大きな改善点の一つに、「道徳教育の充実」があげられています(中央教育審議会答申【教育内容に関する主な改善事項】の4)。その理由の一つとして、道徳教育の形骸化があげられています。ここでは、道徳教育を充実させるためにどういう資質や能力を育てなければならないか、具体的に次の6つが



◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は225名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====  
山口学級活動ネットワーク メールマガジン  
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで  
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部  
梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（美祢市立伊佐小）  
吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）  
=====